



奇貨可居



4月12日 鳥取JCしいたけの森プロジェクト
『第一弾 みんなで作ろう！地球を守るしいたけの森の巻』

2009年度
(社)鳥取青年会議所
会報誌 4月号



INNOVA [ina:va]
変革

「一致団結」

理事長 水野 由久

皆さんご存知の通り本年（社）鳥取青年会議所は創立50周年を迎えます。この歴史的な一年は（社）鳥取青年会議所にとって飛躍の年にしなればならない特別な年です。新運動ビジョン「環境のまち因幡」推進運動を掲げ、これを具体的な活動に落とし込み、記念式典や記念事業で多くの方に発信する。この一連の流れを成功させることが本年の宿命であります。そのためには各委員会が「環境のまち因幡」推進運動をしっかりと理解し、長期的視野に立って政策をスタートさせなければなりません。さらに来月に迫った創立50周年記念式典並びに祝賀会を全てのメンバーが一致団結して準備、運営しなければなりません。言わば創立50周年は大きく輝かしい舞台であり、この舞台上で「環境のまち因幡」推進運動を具体的に表現するのがこの絶好のチャンスです。全メンバーの力でものにしましょう。

4月12日に因幡のグリーン政策委員会の「鳥取JCしいたけの森プロジェクト」がスタートしました。100名の地域の方々に参加していただき、大人も子供も楽しそうに植樹作業をしていただきました。この事業は、因幡の特徴を活かした環境保全活動を行い、「環境」と「経済」が好循環するまちをつくることを目的としており、好循環の困難で複雑なことを、いかに楽しく分かりやすい表現にするかこの事業を長期的に発展させるポイントになると思っています。原木しいたけの育成を通じた森林保全活動が因幡地域のブランドになる日を楽しみにしています。

また後期の会員拡大もまたったなしです。我々の会員拡大は必要不可欠です。全てのメンバーが責任を持って少しずつ力を出して、必ず成功させましょう。

今月は2009年度の重点活動項目である「環境のまち因幡推進運動」の創立50周年記念大会「会員拡大」を成功させる上で最も重要な時期（社）鳥取青年会議所の新しい歴史を創りましょう。

2009年度 日本JCスローガン

やさしくあるために、つよくなる

愛に満ち溢れたつよいJAYCEEによるアドマイヤー型社会の実現「真日本建国」に向けて

2009年度 鳥取JCスローガン

～ 未来の笑顔は我が責務なり ～

将来の因幡を担う今の子供達が大人になった時に、「因幡に生まれて良かった」と思うことのできるまちを創る責任を負って(社)鳥取青年会議所は活動します。

【奇貨可居】きかかきょ... 珍しい値打ちのある物は貯えておいて、将来値が上ってから売ること。「奇貨」は珍しい価値のあるもの。



【前期研修会】久松公園清掃プロジェクト
前期研修会 花房 和正
去る4月19日（日）に久松公園にて我々研修会員が中心となり初の事業を執り行ないました。当日は、晴天にめぐまれ最高のコンディションのなかでの清掃活動でしたが、多くの諸先輩方のお手伝いもいただき、無事終えることが出来ました。大変感謝しております。この度の行事が市民の方をはじめ、県外からの観光客の方々にも「美しい街鳥取」を伝えられたのではないかと感じました。今後JCの事業を



久松公園にて



☆新店舗オープン☆

【本人コメント】
3月24日（火）ベーカーリーマーケット3号店が東伯にオープンしました。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

森原 紀々香（ののか）
3月27日誕生
かわいい♡女の子
【パパから一言】
森原家に待望の女の子が授かりました。第3子の長女です。理想の男性は森原真さん...既に寝言で語っております。



味ちゃんが生まれました

【じゃがいも会】



2009年3月29日（日）に第1回じゃがいも会「50周年記念杯」～元気があればゴルフは出来る～が開催されました。個人の部の優勝は星山委員長、委員会対抗の部の優勝は会員交流委員会でした。多くの皆様のご参加、ありがとうございました。詳しくはHPをご覧ください。

【青雀会】

3月青雀会、委員会対抗の優勝委員会は、星山委員長率いられる青少年育成委員会でした。おめでとうございます！また、個人戦ではひよこから巣立たれた荒田委員長が優勝されました！おめでとうございます。詳細は会員専用HPをご覧ください。得点表も掲載しています！

そして4月の青雀会は、下記の日程です。

開催日 4月28日（火）
場所 いつもの「式部」
時間 19:30～より

次回も多数のご参加お待ちしております！



●今ページの詳しい内容につきましては、(社)鳥取青年会議所ホームページ内の会員専用ページをご覧ください。
URL <http://torijc.main.jp>

「環光のまち因幡」推進運動

因幡の豊かな自然環境(ENVIRONMENT)と因幡の特徴を活かした環境保全活動(ECOLOGY)を観光資源として活用し、人と人との環を広めながら「環境」と「経済」が好循環するまちを創る運動です。

編集/発行/印刷: (社)鳥取青年会議所 広報委員会
鳥取市本町3丁目201番地 鳥取産業会館・鳥取商工会議所ビル4階 TEL: 0857-24-1638
発行日: 2009年4月22日

「居」はたくわえる、手元に置く意。好機をうまくとらえ、活用するたえ。絶好の機会を逃さないようにという意味。





熱く語られる安里会頭



安里会頭と水野理事長

3月22日（日）東伯の地に於いて鳥取ブロック協議会 JCプライドアカデミーが開催されました。私は去年の全国大会、京都会議で会頭の言葉を聞き、お聞きしたときすこく心に響くものを、今度の会頭訪問も、設営から参加させて頂き、会頭講演では、

鳥取ブロック協議会
総務委員会 委員 吉田 友和

【鳥取ブロック協議会】 JCプライドアカデミー開催

3月定例会 ゲストタイム

基調講演 『鳥取県移住促進』
講師：鳥取県企画部移住定住促進課 高濱由美子氏
公開対談 『鳥取県への移住体験と魅力とは？』
講師：移住定住者 海辺のカフェ・Dei Mar 島内武文氏（Iターン）
金田ありのみ農園 金田 透氏（Jターン）

定例会の貴重なお時間を頂き、究極の田舎政策委員会の目指しております

3月定例会 ゲストタイム



高濱由美子氏

究極の田舎政策委員会 委員長 荒田 潤之介
鳥取県への移住体験と魅力とは？
公開対談 『鳥取県への移住体験と魅力とは？』
講師：移住定住者 海辺のカフェ・Dei Mar 島内武文氏（Iターン）
金田ありのみ農園 金田 透氏（Jターン）



JCプライド実践会議による会員拡大PR

移住・定住に関する基調講演に於いて鳥取県の移住定住の取組みを鳥取県企画部地域づくり支援局移住定住促進課の高濱氏にご講演いただきました。また、移住定住者を迎える公開対談では、我々では気づきにくい鳥取の魅力であるとか、移住・定住に関する問題点など多くの気づきをメンバーの皆様には得て頂けたと共に、私達の委員会の目指している部分が少しでもご理解して頂けたのではないのでしょうか。移住・定住の取組みは、鳥取県だけでなく日本の人口が減少しているなか国や多くの都道府県、市町村が取り組んでいる活動であります。その中でも我々の活動を通して鳥取県に魅力を感じて頂き、多くの移住定住者呼び込みたいと考えております。



左から、金田透氏 島内武文氏

鳥取砂丘一斉清掃

新生鳥取砂丘政策委員会
委員長 田淵 裕章



鳥取砂丘一斉清掃

去る4月5日、春の鳥取砂丘一斉清掃に参加してまいりました。当日は皆様が忙しい中、多くのご家族でのご参加があり、誠にありがとうございました。4月18日から開会される、世界砂像フェスティバルを前に、我々の誇りである鳥取砂丘を市民が丸々となつて清掃することは、非常に意義深く、重要なこととあります。多くの観光客に對して美しい鳥取砂丘の景観を保つことが一番のおもてなしにつながります。これからは、因幡市民の手で鳥取砂丘を守り育てていきましよう。そして、次回秋の一斉清掃の参加もよろしく願っています。参加頂きましたメンバーの皆様おつかれさまでした。



記念原木植樹

鳥取JCしいたけの森プロジェクト『第1弾 みんなで作ろう！地球を守る！地球をのこす！』が開催され、いよいよ鳥取JCしいたけの森が開園致しました。現代社会では手を入れられ、里山で、地域の特徴を活かした、原木しいたけを使った森の保全を行い、また保全を行うに当たって経費の支出ばかりではなく、経済の循環を行える方法を目指し、発展させていく為の事業です。当日は好天の中、100人を超える多くの市民の皆さんにご参加頂き、親子でのしいたけの森勉強会や穴あけ・植樹体験を通し、また子供たちは森の中で走り回り、虫を捕まえたり、大人

因幡のグリーン政策委員会
委員長 野田 祐二

鳥取JCしいたけの森 プロジェクトスタート

鳥取JCしいたけの森プロジェクト『第1弾 みんなで作ろう！地球を守る！地球をのこす！』が開催され、いよいよ鳥取JCしいたけの森が開園致しました。現代社会では手を入れられ、里山で、地域の特徴を活かした、原木しいたけを使った森の保全を行い、また保全を行うに当たって経費の支出ばかりではなく、経済の循環を行える方法を目指し、発展させていく為の事業です。当日は好天の中、100人を超える多くの市民の皆さんにご参加頂き、親子でのしいたけの森勉強会や穴あけ・植樹体験を通し、また子供たちは森の中で走り回り、虫を捕まえたり、大人



100人を超える市民の皆さんに参加して頂きました

因幡のグリーン政策委員会
委員 藤田 良二

4月12日（日）心配していた天候にも恵まれ、しいたけの森が開園し、鳥取JCしいたけの森プロジェクトが開始する事となりました。開園するにあたっての事前準備は肉体的労働の部分が多々あり、大変過酷な事前準備となりましたが、メンバー皆様のご協力のおかげで、無事この日を迎えられることができました。本日に有難うございました。当日の一般参加者は100名を超え、しいたけの森環境防衛隊のデジタル紙芝居を見て森林保全の大切さを学び、森ではほだ木の穴あけ植樹体験を学



ドリルを使ってほだ木に穴あけ

4月12日（日）鳥取青年会議所は「環光のまち因幡」を目指す推進運動の一つとして里山の環境保全に取り組み「鳥取JCしいたけの森プロジェクト」をスタートしました。100名を超える親子が参加し、日本きのこセンター菌茸研究所や鳥取市近郊の里山でしいたけ菌を原木に植菌したり、放置された里山に接することでの環境保

鳥取JCしいたけの森 プロジェクトに期待

（財）日本きのこセンター菌茸研究所 所長 福政 幸隆
「環光のまち因幡」を目指す推進運動の一つとして里山の環境保全に取り組み「鳥取JCしいたけの森プロジェクト」をスタートしました。100名を超える親子が参加し、日本きのこセンター菌茸研究所や鳥取市近郊の里山でしいたけ菌を原木に植菌したり、放置された里山に接することでの環境保



おとうさんががんばって！

全の大切さについて見聞しました。元来、私たちは里山と共生しながらその豊かな環境を維持しつつ、そこに産する資源を食料、肥料、燃料そして生活資料として利用してきました。しかし、化石燃料に大きく依存する生活スタイルにより、里山は無用のものとして見放され、荒れ放題になっていきます。マツやナラ類の枯損が進み、多くの生き物の暮らしにとっても不適な状態になっており、心の原風景としての里山感さえも忘れられようとしています。このように病んでいる里山にしいたけ栽培を通じて手を加えることにより誰もが生き生きとした豊かな姿に戻すという取り組みが鳥取JCしいたけの森プロジェクトの目標です。きつい作業や苦労が続くと思いますが、あきらめることなく活動を継続すること、このプロジェクトが因幡の里山を生き物たちの息吹に溢れる環境によりがえらせる保全活動の先駆けとなることを期待します。